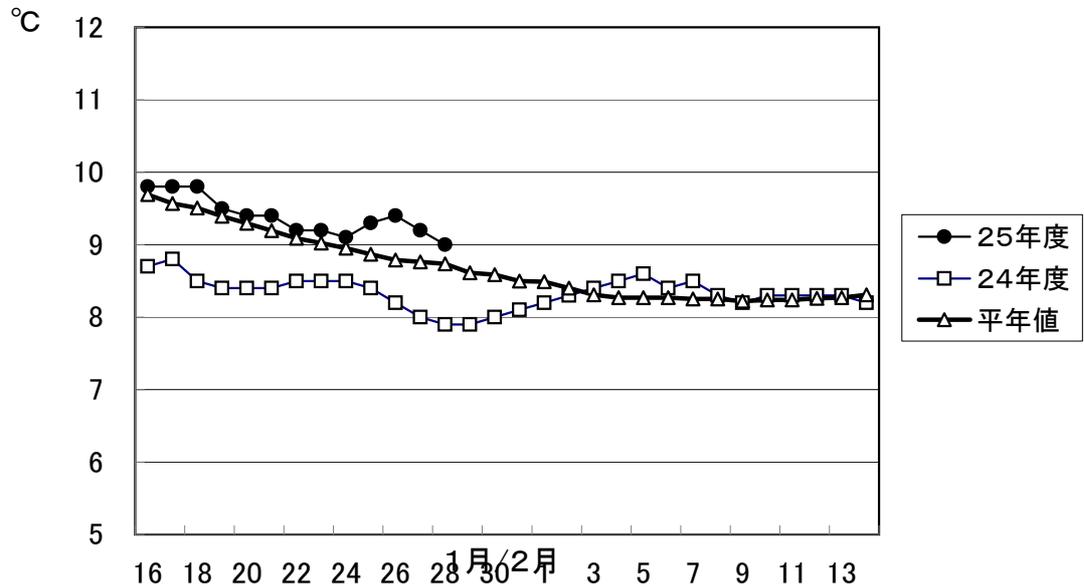


1. 屋島湾の海水温 (午前9時)



1月28日の屋島湾の海水温は9.0°Cで、昨年度より1.3°C高く、平年値より0.3°C高い状態となっています。

2. 県下の生産状況

県下全域で5～6回目の摘採が中心となっています。全体的に伸びはまずまずですが、色落ち気味の漁場が多くなっています。

東讃：4～5回目の摘採が中心。
伸びはまずまずであるが、色落ち気味の漁場が増えている。

高松：香西は7回目、直島は6～7回目、下笠居は4～6回目、瀬戸内は5回目を摘採中。
伸びはまずまずであるが、色落ち気味の漁場が増えている。

小豆：5～7回目の摘採が中心。
伸びはまずまずであるが、殆どの漁場で色落ちが進んでいる。

中讃：与島は3回目、丸亀は2回目を摘採中。
伸びはまずまずであるが、一部で色がやや浅くなっている。

3. 栄養塩及びプランクトン

採水日：平成26年1月28日

① 栄養塩

機関：香川県水産試験場、 単位： $\mu\text{g at}/\ell$

漁場		三 態 窒 素										
		12/24	12/27	12/30	1/7	1/14	1/21	1/28	2/4	2/10	2/18	2/25
引田	本年度	2.0	5.1	10.6	8.3	5.2	3.3	3.6				
	前年度	5.8		4.2	3.0	2.9	0.7	2.6	0.5	0.7	0.8	1.1
東讃	本年度	2.4	3.3	3.4	3.5	4.7	3.4	2.5				
	前年度	2.2		2.8	1.6	3.3	0.6	1.4	0.7	0.7	0.5	0.7
津田	本年度	2.3	2.8	欠測	3.7	2.9	2.9	2.8				
	前年度	3.0		3.0	2.6	1.8	1.5	1.3	0.8	0.5	0.4	0.2
小田	本年度	2.4	3.2	3.3	3.6	3.1	3.4	1.5				
	前年度	3.6		3.5	2.7	2.6	1.8	1.2	1.5	0.7	1.4	欠測
志度湾	本年度	2.6	2.9	3.4	3.6	3.5	2.7	1.9				
	前年度	3.1		3.7	2.9	2.5	1.6	1.0	1.0	3.4	0.6	0.1
庵治	本年度	3.5	3.9	3.8	4.2	3.6	3.0	1.3				
	前年度	3.0		2.2	2.4	2.5	2.4	1.0	1.4	1.1	0.6	0.6
瀬戸内	本年度	5.1	4.0	6.2	6.3	4.5	3.2	3.5				
	前年度											
香西	本年度	4.3	4.2	5.7	4.3	4.3	3.7	0.8				
	前年度	3.7		3.6	3.8	3.5	3.1	1.9	1.5	1.3	5.5	1.2
下笠居	本年度	3.3	4.2	4.9	3.9	4.0	1.0	1.1				
	前年度	3.5		2.9	3.6	1.9	1.9	0.9	1.3	0.8	0.7	0.6
直島	本年度	2.5	3.1	5.2	4.0	3.2	1.8	1.0				
	前年度	3.3		3.8	4.8	1.7	1.8	0.7	1.0	0.6	0.4	0.2
池田	本年度	2.4	3.0	3.3	3.7	2.9	1.7	1.3				
	前年度	2.3		2.4	2.6	1.4	0.6	0.5	0.2	0.3	0.1	0.1
四海	本年度	2.5	2.8	3.6	3.4	3.0	2.0	0.4				
	前年度	3.1		2.7	2.7	1.7	1.5	0.7	0.6	0.5	0.2	0.2
唐櫃	本年度	2.5	2.7	4.7	3.4	4.3	2.0	0.5				
	前年度	3.2		2.8	2.9	1.7	1.0	0.5	0.7	0.4	0.1	0.2
北浦	本年度	2.5	2.4	3.2	3.3	2.8	2.3	2.2				
	前年度	2.8		2.8	2.1	1.7	0.5	0.5	0.4	0.5	0.2	0.1
大部	本年度	3.1	2.8	2.6	3.9	2.3	2.9	2.0				
	前年度	3.7		4.8	1.7	1.5	1.6	1.2	0.6	0.7	0.2	0.2
内海	本年度	2.9	3.4	0.3	3.4	3.6	3.2	2.8				
	前年度	3.7		3.3	2.7	2.3	1.9	1.9	0.5	0.6	0.3	0.2
与島	本年度	4.9	8.0	9.7	4.2	2.9	3.4	4.4				
	前年度	3.9		12.3	3.9	8.7	1.6	1.2	2.8	1.3	2.7	4.9
丸亀市	本年度	6.5	10.9	4.9	4.6	2.0	3.1	0.4				
	前年度	6.4		10.3	4.0	1.4	2.1	1.5	1.2	1.4	欠測	8.2
箱浦	本年度	6.0	欠測	3.8	4.1	1.8	1.3	1.8				
	前年度	2.4		欠測	3.0	4.6	1.6	0.4	1.3	0.7	0.6	1.3
平均	本年度	3.4	4.0	4.6	4.2	3.4	2.6	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0
	前年度	3.5		4.1	3.0	2.7	1.5	1.2	1.1	1.0	0.8	1.1

※三態窒素：アンモニア・硝酸・亜硝酸態窒素の合計で、 $3\mu\text{g at}/\ell$ 以下になると色落ちの原因となる。

(調査結果)

本年度第20回目の栄養塩調査を実施しました。三態窒素の含有量は、 $0.4\sim 4.4\mu\text{g at}/\ell$ 。全漁場における平均は $1.9\mu\text{g at}/\ell$ で、昨年度 ($1.2\mu\text{g at}/\ell$) より高い結果となっています。

② 植物プランクトン

(分析機関：香川県赤潮研究所、 単位：個/ℓ)

漁 場	植 物 プ ラ ン ク ト ン 数				備 考	
	コシノディスカス		ユーカンピア		珪藻優占種第1位	
	1月28日	前年同時期	1月28日	前年同時期		
引 田	550	250	200	21,100	スケルトネマ	16,250
東 讃	50	50	100	35,500	キートケロス	2,200
津 田	100	0	1,700	27,400	ユーカンピア	1,700
小 田	0	100	15,000	21,400	ユーカンピア	15,000
志 度 湾	0	50	150	36,000	キートケロス	2,650
庵 治	50	50	23,100	22,300	ユーカンピア	23,100
高松市瀬戸内	50	—	22,500	—	ユーカンピア	22,500
香 西	0	250	6,100	11,250	ユーカンピア	6,100
下 笠 居	50	300	23,900	13,750	ユーカンピア	23,900
直 島	200	200	42,000	24,200	ユーカンピア	42,000
池 田	100	100	9,000	44,500	ユーカンピア	9,000
四 海	100	100	27,000	29,400	リクモフオラ	144,000
唐 櫃	0	100	2,200	71,250	キートケロス	6,850
北 浦	300	150	27,500	23,500	ユーカンピア	27,500
大 部	200	350	14,500	54,750	ユーカンピア	14,500
内 海	100	250	50	8,250	スケルトネマ	7,000
与 島	0	0	0	5,100	キートケロス	3,750
丸 亀 市	50	0	8,450	0	ユーカンピア	8,450
箱 浦	50	450	0	2,200	シュードニッチア	11,150

(調査結果)

i) コシノディスカス

引田の550個/ℓを最高に、14漁場で検出されています。

ii) ユーカンピア

直島の42,000個/ℓを最高に、17漁場で検出されています。

iii) 珪藻優占種

ユーカンピアが優占して出現しています。

※ 次回調査は、2月4日(火)に予定します。

ノリ養殖漁場栄養塩調査結果
第20回(平成26年1月28日)

